

\*前期比：D I・季節調整済

景況

今期の業況判断DI値は-72と前期の予想DI値を24ポイント下回り、実績に比べると27ポイント後退する結果となりました。売上、収益、資金繰りはともに後退しました。設備投資については、車両を中心に横ばいで推移しました。

来期の予想業況判断DI値は-56と今期より16ポイント改善すると予想しており、売上、収益、資金繰りとも改善すると予想しています。設備投資については、今期に比べ7ポイント減少し、8%の実施と予想しています。

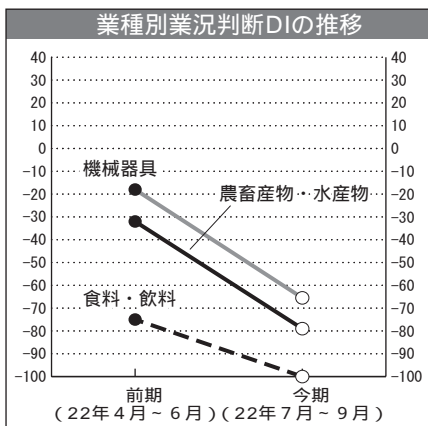
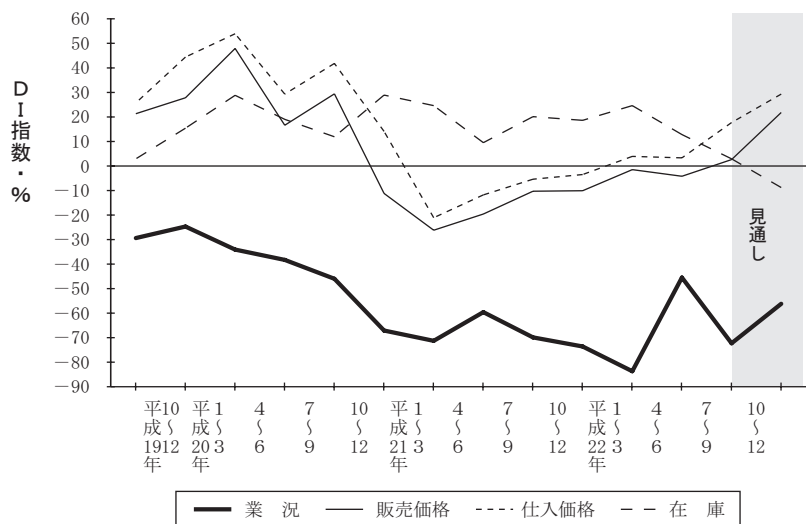
調査員のコメント

- 猛暑により、販売価格、仕入価格ともに上昇しており、厳しい業況にある。(食料・飲料卸売業)
- 為替レートの変動で影響を受けているので、円高が進むと今以上に厳しい。(古紙卸売業)

景況の推移



主な指標の動き



順位	問題点	社数 (%)
1位	売上の停滞・減少(1)	18社 (69%)
2位	同業者間の競争の激化(2)	13社 (50%)
3位	利幅の縮小(3)	7社 (27%)

順位	施策	社数 (%)
1位	経費を節減する(1)	20社 (77%)
2位	販路を広げる(2)	17社 (65%)
3位	情報力を強化する(3)	8社 (31%)

\*( )は前回順位 \*対象企業総数は26社

残業、人手、設備状況

